

緊急地震速報

きょうから一般提供

昇降機制御、現場防災に導入

気象庁は、10月1日午前9時から、緊急地震速報の一般提供を始める。緊急地震速報の一般提供と合わせて、鹿島はエレベーター地震時管制運転システムに緊急地震速報を組み合わせるほか、長谷工コーポレーションは、分譲マンション居住者向け生活支援サービスのオプションの一つに緊急地震速報を利用した防災システムなども加えた。大成建設は、緊急地震速報を利用したリアルタイム地震防災システムを全社に導入したほか、戸田建設は「現場地震速報ユレキテル」を2007年度中に100件程度に広げる。このほか、不動産会社各社が分譲マンションに導入し始めている。

鹿島は、新たに開発したエレベーター地震時管制運転システムに今後、緊急地震速報やリアルタイム防災システムを組み合わせる。高層ビルなどで発生する長周期地震動に対応するもので、ロープの共振を解析して揺れが収まるまでエレベーターの運転を止める。

長谷工は、同社が設計・施工し、子会社の長谷工コミュニケーションが管理受託する分譲マンションを対象に提供する生活情報支援システム「素敵スタイル」のオプションの一つに、緊急地震速報を利用した防災システムを加えている。

大成は、8月に緊急地震速報を利用した「大成リアルタイム地震防災システム」を本社、全国14の支店に導入した。同社はまた無線方式で可搬型のリアルタイム緊急地震速報システムも開発している。

戸田は、ことし4月から全国の建設現場に導入し始めた「現場地震速報ユレキテル」を07年度中に100件程度に広げる考えだ。ことし7月に発生したマグニチュード6・8、最大震度6強の新潟県中越沖地震の際には、東京都内の現場で約

40～50秒前に、長野県松本市の現場も約30秒前に受信、いずれも作業、重機停止を指示した。

このほか、不動産会社各社が緊急地震速報を活用したシステムをマンションに導入し始めているほか、メーカー各社が緊急地震速報受信端末やソフトラウェアを販売している。緊急地震速報は1日かかる。

ら、地震波が2点以上の地震観測点で観測され、最大震度が5弱以上と推定された場合に、地震の発生時刻、発生場所（震源）の推定値、地震発生場所の震央地名、震度4以上と推定される地域名を一般向けに発表する。専用端末などを利用した情報入手方法以外にも、NHKがテレビ・ラジオで緊急地震速報を放送するほか、一部の自治体では総務省消防庁の全国瞬時警報システム（J-ALERT）を使った防災行政無線による放送が予定されている。また、携帯電話各社は携帯電話への配信を計画している。